



2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 北川精機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 西田 圭司

TEL 0847-40-1200

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	1,570	△33.8	184	△27.5	180	△25.7	27	△79.9
2019年6月期第2四半期	2,371	△0.8	253	28.2	243	32.1	138	△19.9

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 35百万円 (△78.9%) 2019年6月期第2四半期 169百万円 (△9.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	3.64	—
2019年6月期第2四半期	18.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第2四半期	6,127	1,723	28.1	225.42
2019年6月期	7,079	2,118	23.8	220.74

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 1,723百万円 2019年6月期 1,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	△22.3	350	△39.3	340	△38.7	150	△6.4	19.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) キタガワエンジニアリング株式会社

(注)詳細は、【添付書類】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付書類】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期2Q	7,649,600 株	2019年6月期	7,649,600 株
② 期末自己株式数	2020年6月期2Q	1,838 株	2019年6月期	1,838 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期2Q	7,647,762 株	2019年6月期2Q	7,647,779 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速による下振れリスク等により、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループは、2年目を迎えた中期経営計画「革新と創造への挑戦～独創性で輝き続けるKITAGAWAへ～」に基づき、引き続き3つの重点項目「独自コア技術の新分野・新市場への積極展開」「徹底した工程管理と原価削減による収益性・競争力・製品/サービス品質の向上」「創造性と自主性に溢れ、継続的な成長を支える活力ある強い組織作り」に取り組んでおります。

また、事業の選択と集中を図り、中長期にわたり業績の拡大を目指すうえで、成長事業を柱とした事業領域に資源を集中するため、連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社(建材機械事業)の全株式を同社へ譲渡し、第1四半期連結会計期間より「建材機械事業」を当社グループから除外しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,570百万円(前年同四半期比33.8%減)、営業利益184百万円(前年同四半期比27.5%減)、経常利益180百万円(前年同四半期比25.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益27百万円(前年同四半期比79.9%減)となりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、製品の受注金額・納期にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに相当期間を要し、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(産業機械事業)

銅張積層板・多層基板成形用のプレス装置、自動車部品製造ライン、樹脂成形用プレス装置など多様な受注を獲得しております。しかしながら、大口案件の売上が第3四半期連結会計期間以降に集中しているため、売上高1,447百万円(前年同四半期比8.7%減)、営業利益161百万円(前年同四半期比11.9%増)となりました。

(その他)

油圧機器の売上が堅調に推移しており、売上高122百万円(前年同四半期比39.2%増)、営業利益15百万円(前年同四半期比24.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は6,127百万円となり、前連結会計年度末に比べて951百万円の減少となりました。増加の主なもの、仕掛品404百万円、減少の主なもの、受取手形及び売掛金909百万円、建物及び構築物(純額)107百万円、土地237百万円であります。

(負債)

負債合計は4,404百万円となり、前連結会計年度末に比べて556百万円の減少となりました。増加の主なものは、電子記録債務263百万円、前受金240百万円、減少の主なものは、支払手形及び買掛金343百万円、短期借入金250百万円、長期借入金136百万円であります。

(純資産)

純資産合計は1,723百万円となり、前連結会計年度末に比べて394百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益27百万円の計上と、非支配株主持分430百万円の減少によるものであります。

なお、当社は、当第2四半期連結会計期間において欠損填補を行っております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)」をご覧ください。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は1,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は622百万円(前年同四半期は408百万円の使用)となりました。収入の主なもの、税金等調整前四半期純利益63百万円、減損損失136百万円、売上債権の減少額399百万円、仕入債務の増加額248百万円、前受金の増加額598百万円、支出の主なものは、たな卸資産の増加額627百万円、法人税等の支払額91百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は361百万円(前年同四半期は45百万円の使用)となりました。支出の主なものは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出341百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は299百万円(前年同四半期は92百万円の使用)となりました。支出の主なものは、短期借入金の純減少額250百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月8日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想に関して修正の必要が生じた場合は、速やかに開示します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,771,747	1,734,975
受取手形及び売掛金	1,980,741	1,071,093
商品及び製品	6,187	1,439
仕掛品	827,388	1,231,648
原材料及び貯蔵品	137,963	107,868
その他	51,730	118,951
貸倒引当金	△5,502	△2,945
流動資産合計	4,770,255	4,263,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	576,681	469,030
土地	1,291,323	1,054,062
その他(純額)	206,945	189,488
有形固定資産合計	2,074,951	1,712,581
無形固定資産	22,124	12,445
投資その他の資産		
その他	222,643	149,726
貸倒引当金	△10,815	△9,790
投資その他の資産合計	211,828	139,936
固定資産合計	2,308,904	1,864,963
資産合計	7,079,159	6,127,994
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	830,940	487,729
電子記録債務	391,396	655,212
短期借入金	1,375,000	1,125,000
未払法人税等	76,785	9,920
前受金	595,487	835,853
賞与引当金	29,842	20,228
製品保証引当金	39,032	37,700
その他	330,853	208,498
流動負債合計	3,669,339	3,380,142
固定負債		
長期借入金	827,961	691,679
役員退職慰労引当金	62,347	900
退職給付に係る負債	388,412	319,816
その他	12,837	11,525
固定負債合計	1,291,557	1,023,921
負債合計	4,960,897	4,404,063

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,335,010	300,000
資本剰余金	1,340,745	660,987
利益剰余金	△993,880	748,725
自己株式	△1,114	△1,114
株主資本合計	1,680,760	1,708,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,770	10,798
為替換算調整勘定	4,653	4,534
その他の包括利益累計額合計	7,424	15,332
非支配株主持分	430,077	—
純資産合計	2,118,262	1,723,931
負債純資産合計	7,079,159	6,127,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,371,091	1,570,062
売上原価	1,748,055	1,066,046
売上総利益	623,035	504,016
販売費及び一般管理費	369,091	319,866
営業利益	253,944	184,149
営業外収益		
受取利息	357	189
受取配当金	518	553
為替差益	2,102	11,447
受取賃貸料	4,200	4,980
その他	2,638	2,896
営業外収益合計	9,817	20,067
営業外費用		
支払利息	18,554	16,129
その他	1,834	7,302
営業外費用合計	20,388	23,431
経常利益	243,373	180,784
特別利益		
受取保険金	15,130	—
子会社株式売却益	—	18,657
特別利益合計	15,130	18,657
特別損失		
減損損失	—	136,235
災害による損失	22,319	—
特別損失合計	22,319	136,235
税金等調整前四半期純利益	236,183	63,207
法人税等	62,854	35,368
四半期純利益	173,329	27,838
非支配株主に帰属する四半期純利益	35,059	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,269	27,838

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	173,329	27,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,766	8,028
為替換算調整勘定	△1,234	△119
その他の包括利益合計	△4,001	7,908
四半期包括利益	169,328	35,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,268	35,746
非支配株主に係る四半期包括利益	35,059	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	236,183	63,207
減価償却費	37,056	45,288
減損損失	—	136,235
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,161	1,812
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,600	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△623	4,356
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,168	300
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△4,415	△1,200
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△28,800	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△57	△1,148
受取利息及び受取配当金	△876	△742
支払利息	18,554	16,129
受取賃貸料	—	△4,980
為替差損益(△は益)	△1,665	△5,346
投資有価証券売却損益(△は益)	—	1,300
子会社株式売却損益(△は益)	—	△18,657
固定資産除却損	0	2,503
災害損失	22,319	—
受取保険金	△15,130	—
売上債権の増減額(△は増加)	△295,444	399,625
たな卸資産の増減額(△は増加)	△415,524	△627,519
仕入債務の増減額(△は減少)	263,079	248,398
前渡金の増減額(△は増加)	△51,852	△12,124
前受金の増減額(△は減少)	52,494	598,217
未払金の増減額(△は減少)	△100,855	△50,817
未払費用の増減額(△は減少)	10,235	△17,604
未収消費税等の増減額(△は増加)	△31,709	△37,710
その他	2,028	△10,519
小計	△299,272	729,001
利息及び配当金の受取額	876	742
利息の支払額	△18,470	△15,780
災害損失の支払額	△22,319	—
保険金の受取額	15,130	—
法人税等の支払額	△84,447	△91,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	△408,503	622,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,300	—
定期預金の払戻による収入	6,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△341,780
有形固定資産の取得による支出	△38,212	△23,578
有形固定資産の売却による収入	85	299
無形固定資産の取得による支出	△4,913	△2,524
投資有価証券の取得による支出	△1,037	△1,066
投資有価証券の売却による収入	—	2,000
保険積立金の積立による支出	△1,139	—
投資不動産の賃貸による収入	—	4,980
その他の支出	△291	△377
その他の収入	17	384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,791	△361,664

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△250,000
長期借入金の返済による支出	△84,486	△49,998
自己株式の取得による支出	△20	—
非支配株主への配当金の支払額	△7,800	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,306	△299,998
現金及び現金同等物に係る換算差額	417	5,250
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△546,182	△33,771
現金及び現金同等物の期首残高	2,359,009	1,768,747
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,812,826	1,734,975

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2019年9月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、2019年11月1日付けで減資の効力が発生し、資本金の額1,035,010千円及び資本準備金の額1,240,745千円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振替えました。振替後のその他資本剰余金のうち1,714,767千円を取り崩し繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行いました。

この結果、資本金が300,000千円、資本剰余金が660,987千円となりました。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であったキタガワエンジニアリング株式会社の全株式を同社に売却したため、当社の特定子会社に該当しないこととなり、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、見積実効税率により税金費用を算定しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、税金費用をより適切に四半期連結財務諸表に反映するため、年度決算と同様の方法による税金費用における簡便的な方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による前第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)

当第2四半期連結累計期間の(報告セグメントの変更等に関する事項)に記載のとおりであります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年12月31日)

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度まで「産業機械事業」及び「建材機械事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社(建材機械事業)の全株式を同社へ譲渡したため、第1四半期連結会計期間より「建材機械事業」を当社グループから除外しております。

このため、「産業機械事業」以外の事業は重要性が乏しいことから、記載を省略しております。